

書名	著者	出版社	出版年	請求記号	内容
このゆきだるま だーれ？	岸田 衿子／文 山脇 百合子／絵	福音館書店	1997年	SEホン	ゆきのひに、もみちゃんはやまのうえから、そりですべります。どうぶたちもいっしょです。しゅるしゅるしゅる、しゅうーっ。りすくんがころがりおちて、それから、ぶたさんも。そりがとまったときには、もみちゃんだけになっていました。みんなどこへ行ってしまったのかな。
ぽとんぽとんはなんのおと	神沢 利子／さく 平山 英三／え	福音館書店	1985年	Eホン ヒ	くまのおやこがふゆごもり。あなのなかに、そとからいろんなおとがきこえてきます。「かーん かーん」「ほっほー ほっほー」「つぴー つぴー」「どーどー」。ふゆのやまののらはどんなようすなのでしょう。そしてさいごにきこえてきたのは、「ぽとん ぽとん」なんのおとがきこえてきたのかな。
ふゆのせいざ オリオン	八板 康麿／写真と文 杉浦 繁茂／絵と構成	福音館書店	1988年	443	ふゆのよぞらをみあげてみよう。あかるいほしが、りぼんのかたちにならんている。それはオリオンざというなまえのせいざ。こんやはれていたらさがしてみよう。オリオンざのなかに、ぼーっとかがやくだいせいうんもさがしてみよう。このほんをよんで、じゅんぴしておけばきつとみつけれよ。
しろいゆき あかるいゆき	アルビン・トレッセルト／さく ロジャー・デュボアザン／え えくに かおり／やく	ブックローン	1995年	Eホン テ	ゆきになりそうだな。ゆきのにおいがするぞ。どうやらゆきらしい。こどもたちは、ひくくたれこめたはいいろのそらをみあげて、ゆきのさいしょのひとひらが、おちてくるのをまっています。ゆきのかけらをこどもたちはうけとめようとくちをあけ、わらったりおどったり。
ゆきやまたんけん	松岡 たつひで／さく	福音館書店	2011年	Eホン マ	かえるのぼくや、てんとうむし、かたつむり、だんごむしはふゆのあいだ、つちのなかでねむるんだ。でも、このふゆは、ねむらない。ふゆのたんけんしゃをつくっているんだ。ミノムシのすやイラガのまゆでつくったぼうかんコートきて、みんなでゆきのなかであそぶんだ。
てぶくろがいっぱい	フローレンス・スロボドキン／文 ルイス・スロボドキン／絵 三原 泉／訳	偕成社	2008年	Eホン ス	ネッドとドニーはふたごです。あるふゆのこと、ドニーはあかいてぶくろを、かたほうなくしてしまいました。そのことをしったまのひとびとは、あかいてぶくろがおちていると、ふたごのうちにとどけてくれるようになりました。